



「第9回 匝瑳市ボランティアフェスタ2019」開会式

目 次

令和2年度事業計画及び予算	P2
ボランティアフェスタ	P3
地区社協活動紹介	P4,5
災害ボランティア活動	P6
社協事業の紹介、ボランティア情報	P7
紙ふうせん紹介、寄付お礼、共同募金	P8

令和2年度事業計画及び予算

～主な事業（取組み）～

●生活困窮者自立支援事業(市受託事業) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業) による自立支援相談事業

生活困窮者自立支援事業及び生活福祉資金貸付事業により、何らかの理由で自立した生活が出来なくなった世帯に対し伴走型の支援を行う事で世帯が自立した生活を送れるよう支援を行います。

●生活支援体制整備事業(市受託事業)の推進

誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るよう「生活支援体制整備事業」を実施、高齢化が進む中、住民同士が主体となった支え合い・助け合い活動を推進していきます。

●生活支援サービス（ちょこっとサービス）

協力会員として登録された方々によるごみ捨てや買い物などの日常生活に必要な生活支援サービスを提供します。

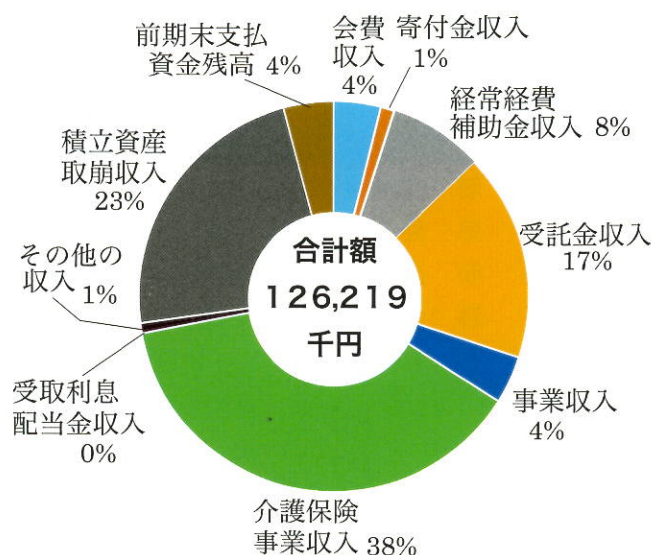
●第2次地域福祉活動計画の推進

「住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会（地域力）の構築」をめざすため地域住民、行政福祉団体等と連携して計画の推進を図ります。

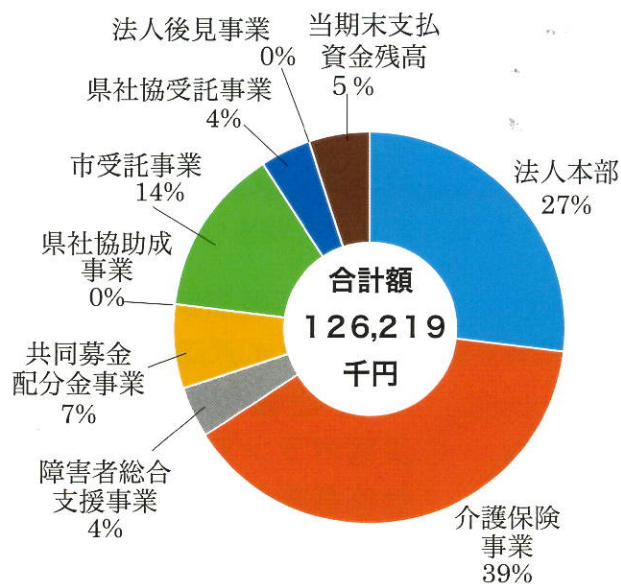
(単位:千円)

収入	科目	金額
	会費収入	4,521
	寄付金収入	1,000
	経常経費補助金収入	10,416
	受託金収入	21,938
	事業収入	5,720
	介護保険事業収入	47,487
	受取利息配当金収入	1
	その他の収入	780
	積立資産取崩収入	29,000
	前期末支払資金残高	5,356
合計	126,219	
支出	事業	金額
	法人本部	33,496
	介護保険事業	49,487
	障害者総合支援事業	5,390
	共同募金配分金事業	9,450
	県社協助成事業	66
	市受託事業	17,236
	県社協受託事業	4,560
	法人後見事業	312
	当期末支払資金残高	6,220
合計	126,219	

令和2年度 予算「収入」



令和2年度 予算「支出」



第9回 匝瑳市 ボランティアフェスタ 2019

令和元年 11 月 24 日（日）のさかアリーナを会場に、ボランティア連絡協議会主催第 9 回匝瑳市ボランティアフェスタ 2019 が開催されました。

このボランティアフェスタは現在活動中のボランティア活動を、広く見て・聞いて・体験していただくことにより、ボランティア活動についての理解を得るきっかけとし、新たな多世代のボランティアが活動する町づくりを目指すとともに、各ボランティアの連携の強化を図ることを目的として毎年開催されています。



人気の「おり紙・絵手紙」コーナー



初めての車いす介助体験

今回は市内 23 のボランティアグループや個人ボランティア、市内 3 校の中学生が参加しました。

車いすの介助体験や、認知症への理解を深める寸劇など様々なプログラムが盛り込まれており、会場内の中学生スタッフ、来場者からは「楽しかった。」「今度、困っている人を見かけた時、何か力になれることがあったら自分から積極的に活動していきたいと思っています。」といった声も聞こえ、ボランティア活動の意義や楽しさ、魅力を感じていただきました。

来場者のアンケートから

「皆様がいろいろな活動をされていることに興味しました。私もボランティア活動してみたいと思いました。」



「ボランティアフェスタに参加して良かったです」という声を沢山いただきました。

匝瑳市ボランティア連絡協議会では、運営委員会、ボランティアフェスタ等の行事を通してボランティア同士の交流ができ、情報交換や協力し合うこともできます。

事務局は、匝瑳市社会福祉協議会が担っています。

あなたもボランティアはじめませんか！

「ボランティアをはじめようかな」
「ボランティアに興味があるけれど、どうしたら？」
「ボランティアグループに入りたい」
「ボランティア連絡協議会に入りたい」など

お気軽に社会福祉協議会までご相談ください。

匝瑳市社会福祉協議会 ☎(67)5200
ボランティア担当まで



頑張っています！

地区

～平和地区社会福祉協議会～ 平和っ子、親子で遊ぼう会

令和元年12月7日（土）平和っ子、親子で遊ぼう会が開催されました。



昔遊びを楽しむ平和地区の皆さん



新しい遊びであるスライム作り

参加者は約300人、子供から高齢者まで多くの平和地区の方々が集まり、竹鉄砲・紙芝居・ベーゴマ・段ボール遊び・紙飛行機等の昔遊びに加え、新たな遊びであるスライム作りも加わり、普段あまりできない遊びを楽しみました。

お昼には、つくたてのお餅や豚汁、おにぎりが振舞われ、皆さん遊びも食事也大満足でした。

～共興地区社会福祉協議会～ 生活支援サービスの創出に向けて

共興地区社会福祉協議会は令和2年1月24日（金）、佐倉市にある南部地域福祉センターを訪れました。

今回の視察は、佐倉市の地区社会福祉協議会の取り組みの1つである「生活支援サービス」について、佐倉市社会福祉協議会、和田地区社会福祉協議会の協力の下、ディスカッションによる研修をおこないました。

和田地区社会福祉協議会で取り組まれている「わだすけ60分サービス」について、立ち上げから現在までの経緯など、多くの情報を説明してくださいました。

共興地区での生活支援サービス創出に向けた取り組みを進めている役員の方々や地域住民の方々にとって大変参考になった視察研修でした。



佐倉市和田地区の方々による説明



視察に参加した共興地区社会福祉協議会の皆さん

社 協

市内には11の地区社協があり、地域福祉の推進を図るため様々な活動が行われています。活動の様子をご紹介します。

～豊和地区社会福祉協議会～ 豊和地区グランドゴルフ大会

令和元年11月9日(土)豊和地区コミュニティーセンター隣のグランドゴルフ場でグランドゴルフ大会が開催されました。

このグランドゴルフ大会は、日頃あまり交流のない小学生と高齢者の交流を深めるための異世代間交流事業として実施されているもので、今回は約80の方が参加しました。

最初は、慣れないグランドゴルフに少し緊張気味の小学生たちでしたが、ベテランプレイヤーのリードとあたたかい声援により緊張もほどけ、プレーが進むにつれ参加者の歓声とボールを打つ「カーン」という快音が広い会場に響き渡っていました。

グランドゴルフを教えて下さったベテランプレイヤーの1打でも少なくホールアウトしようとする集中力に目を見張りながら、グランドゴルフを楽しくプレーした小学生たちでした。



開 会 式



競技を楽しむ参加者

～須賀地区社会福祉協議会～ 須賀地区伝承遊びの会



昔なつかしいはねつき



みんなで楽しく給食タイム

令和2年1月21日(火)に須賀小学校で毎年、恒例となった伝承遊びの会が行われました。

伝承遊びの先生となった地区役員、ボランティア29名と1年生、2年生の生徒が参加し、お手玉、おり紙、はねつき、けん玉、あやとり、紙ひこうきなどの昔の遊びを行いました。

会場となった体育館では遊びの先生、生徒の笑い声が響きわたり、和気あいあいな雰囲気になりました。

遊びが終わった後はみんなで一緒に給食を頂き、この日の人気メニューのカレーうどんはおかわりをする生徒がたくさんいました。

遊びの先生方から「今の子はこんなにたくさん食べるんだ。」といった驚きの声が挙がり、世代を越えた交流を深めることができました。

台風15号等による災害ボランティア活動報告

災害ボランティア活動を実施

令和元年9月9日に襲来した台風15号及び10月12日に襲来した台風19号は、千葉県をはじめ全国に甚大な被害をもたらし、匝瑳市内においても大きな被害を被りました。被災された市民の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

本会では災害発生後に現地調査を行い、市と連携しながら災害ボランティア活動を行いました。

今回の災害ボランティア活動中、のべ48人の災害ボランティアの方にご協力いただき、被災家屋の内外の散乱物の撤去や家財道具の運び出しなど、計14件の支援を行いました。



被災現場へのボランティア送り出し

ボランティア活動に携わっていただいた多くの皆様、御協力いただいた関係団体の皆様に改めて心より御礼申し上げます。

～災害の発生に備えて～

令和2年1月26日（日）匝瑳市民ふれあいセンターで銚子市・旭市・匝瑳市の三市合同ボランティアセンター立ち上げ訓練が実施されました。

この訓練は、平成23年3月11日に起きた東日本大震災の際、お隣の旭市で津波被害の災害ボランティアセンターを開設した経験を生かし開催されている三市持ち回りによる訓練で、今回は匝瑳市が会場となりました。



災害ボランティアセンター受付訓練

当日の参加者は社協職員・日赤災害ボランティア・ボランティアの約40名。昨年千葉県で発生した一連の台風・大雨災害を振り返るとともに、災害ボランティアセンターを設置するための資機材の確認・開設の手順等を確認しました。

災害は起きないに越したことはありませんが、国内外を問わず災害が多発する昨今、災害への備えとしての有意義な訓練となりました。



三市合同防災訓練会場

社協事業の紹介

生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

経済的困窮など生活上の困りごとがある方を対象に、自立に関する相談等、包括的な支援を行います。

日常生活自立支援事業「すまいる」

判断能力が不十分な方や身体が自由がきかない方に福祉サービス利用に関するアドバイス、お金の出し入れのお手伝い、大切な書類や印鑑のお預かりをいたします。

その他の事業一覧

訪問介護事業

移動支援事業（市受託事業）

居宅介護重度訪問介護事業

生活支援体制整備事業（市受託事業）

車いすの貸出（無料）

無料法律相談（月2回、予約制）

あんしん箱の配布

あんしん箱とは急な入院時に困らないように必要な日用品・緊急連絡カードなどを詰め込んでおける箱です。緊急連絡カードは救急隊の方々が病院へ適切に搬送する家族へ速やかに連絡を行うために役立てることが出来ます。

配付対象者は市内在住の70歳以上のひとり暮らしの高齢者、75歳以上の高齢者夫婦世帯、担当地区の民生委員が認めた世帯となります。

無料で配付しておりますのでご近所の民生委員又は市社協までご連絡下さい。



ボランティア活動の支援

ボランティアセンターの運営

- ボランティア活動の紹介・登録等の受付
- ボランティア活動保険に関する相談と受付手続き等
- ボランティア活動の啓発、情報の発信
(ボランティア情報誌「タッチ」の発行)
- 福祉教育への協力
(福祉出前講座のコーディネート)
- 福祉体験機器の貸出
(車いす・白杖・簡易点字器・シニア体験用具等)
- ボランティアフェスタ開催の協力

ボランティア活動保険について

「ボランティア活動中に怪我をしてしまった」
「ボランティア活動中に他人に怪我をさせてしまった」など万一の事故に備えて…
ボランティア活動保険は、ボランティア活動中のケガや賠償責任を補償する保険です。
ボランティア活動時には、加入することをお勧めします。

・保険加入の申し込みは、社会福祉協議会で受付いたしますので、ご面倒でも匝瑳市社会福祉協議会にご来所ください。

補償期間（保険期間）は1年間

（4月1日午前0時～翌年3月31日午後12時）

※中途加入の場合は

加入申込手続き完了日の翌日午前0時～

翌年3月31日午後12時までとなります。

小規模多機能型居宅介護事業所 「紙ふうせん」

小規模多機能型居宅介護事業所「紙ふうせん」は定員 24 名の小さな事業所です。住み慣れた地域や自宅で安心して生活を継続できるように身体状況や必要性に応じて「通い」「訪問」「宿泊」の 3 つのサービスを組み合わせてご利用頂けます。

少人数のため家庭的な雰囲気や顔なじみのご利用者様やスタッフと過ごせるので環境の変化に敏感な認知症の方でも安心してご利用頂けます。

ゲームなどのレクリエーション、季節毎のイベントや外出、地域のボランティアさんの訪問などご利用者様が楽しく過ごせる様に工夫しています。食事手作り「美味しかったよ。」との声を利用者さんより頂いています。

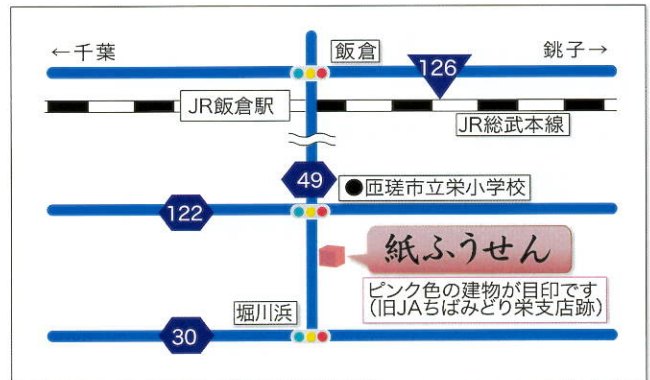
見学や1日体験も行っていますのでお気軽にお問い合わせ下さい。



運動会を楽しむ利用者



食事は専門職員による手作りです



千葉県匝瑳市栢田 1250 番地
☎(67) 5777

あたたかいご寄付ありがとうございます

令和元年9月24日～2年2月18日まで
(順不同)

- 山崎 昭 様
- 三ツ葉歌謡会 様
- さざんかの会 様
- 匝瑳市植木組合 様
- そうさ農業まつり実行委員会 様
- 銚子商工信用組合信友会 様
- 匝瑳市ゴルフ協会女子シニア会 様
- 日蓮宗千葉県東部宗務所 様
- はがき絵サークル花だより 様
- 七宝焼サークル 様
- 匿名 1名 様

※その他、多くの方より食材等のご寄付を頂きました。

ありがとうございました。

令和元年度 共同募金

令和2年2月末現在、お寄せいただいた募金額は次のとおりです。

募金総額	10,547,878円
赤い羽根共同募金	4,102,410円
歳末たすけあい運動	6,445,477円

令和元年 9 月以降に発生した台風及び大雨災害で被害に遭われた方に対して災害見舞金としてこの共同募金が活用されております。

ご協力ありがとうございました。

